



# 東京多摩プロバスニュース

第 117 号

■事務局: 〒206-0002 東京都多摩市一ノ宮 1-17-18 登坂征一郎方 ■電話: 042-375-5878



■編集・発行: 広報委員会 2025. 5. 7.

■ホームページ: [tokyo-tama-probusclub.com](http://tokyo-tama-probusclub.com)

## 楽しくなければプロバスではない



### 戦後 80 年「私の戦争秘話」

小林務会長

1945 年 8 月 15 日第二次世界大戦終結の日であった。私は山梨県の片田舎初狩村、山あいの富士山の眺めが素晴らしい富士見沢 100 戸ほどの集落に生まれた。4 歳の頃、物心も多少ついての臆気ながらも記憶を辿ってみた。この年 3 月 10 日は恐怖の東京大空襲、東京の街は空を埋め尽くす漆黒の爆撃機 B-29 無数の編隊による焼夷弾投下、瞬く間に火の海、逃げ惑う市民も無数の焼死体の間に手を合わせる余裕もなく、肉親の行方を捜し右往左往彷徨、まさしく地獄の沙汰、何とか逃げ延びた人の体験談を驚愕の思いで耳にしたのは、小学校高学年になった頃だったと思う。東京大空襲、当時私の記憶では鳴り響く半鐘とサイレンの空襲警報に常に用意した水筒、防空頭巾を身にまとい近所の大人に手を引かれ防空壕に逃げ込み祈るようなおもいで警報解除の知らせを待った。富士山周辺を迂回して東京に向かう空爆編隊に一瞬空が暗くなり轟音を響かせ飛び去った。其の記憶は今も鮮明に残る。地方都市も焼夷弾投下に甚大な被害続出、やがて焼き尽くされた街に止めを刺した、広島と長崎の「ピカドン」原子爆弾は世界中を戦争の恐怖の坩堝と化す。父親の出征中我が家も母親と叔母、祖父と私の兄弟 3 人家族 6 人暮らし、父親もシベリヤ抑留に音信不通、昭和 21 年 12 月祖父の病死、その後 23 年 10 月、病弱の母親に代わりに育ち盛りの私が生活の面倒を見て貰った叔母の急死に、小学校 1 年生の子供心は衝撃を受けた。後日叔母の死因が解った。叔母は出征前に恋人の許嫁となり愛する人は南方に赴任、終戦後も生死不明音信不通。しかし終戦と同時に無事帰還した恋人の弟に優しく接しられる間にお互い心が傾き道ならぬ間柄に。しかし時が過ぎ無情にも 23 年 8 月恋人が南方での生存が確認され年内に帰国の報せ、叔母は弟との関係に複雑な思いに悩み苦しみ、挙句の果てに弟と青酸カリ服毒心中、戦争の無残で無情な恋の清算に至った。悲惨な戦争秘話が子供心に深く刻み込まれた悲しい現実は今も忘れる事は出来ない。

### 理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



多摩市中央公園と開園式。令和 7 年 4 月 5 日改修工事が完了し開園式が開催されました。○枠内;阿部裕行多摩市長のご挨拶。

### トピックス

- ◎多摩市副市長須田雄次郎氏から市民と密接な施策の講話をいただき、我々の活動に身近に感じられました。
- ◎観桜会には、来日中の堀内陽二会友の米国在住のお嬢さんにも参加いただき、記事を纏めていただきました。
- ◎4月2日には、関・一つむぎ館と共催で「谷リエ子ソンのコンサート」を開催、好評をいただきました。
- ◎QR コードを読み取り 当ニュースのデジタル版が閲覧できます。



◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

小島明幹事

1) 次期役員について

次期総会の準備並びに次期役員再任についての審議

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

片倉満委員長

1) 第249回定例会; 3月5日(水)、関戸公民館7階ワークショップルーム

出席: 8名、欠席: 1名(会員数9名+休会員1名)

・主たる次第

① 会長挨拶・点鐘 ② 幹事及び会計報告 ③ 各委員会及び事務局報告 ④ 討議

・卓話: 堀井義昭会員「民謡の53年と集大成の伝統文化親子教室」

2) 第250回定例会; 4月2日(水)、

関・一つむぎ館第1会議室、出席: 9名、欠席: 1名(会員数10名+休会員1名)

\* 4月入会: 植田珠峰子さん

・主たる次第

① 会長挨拶・点鐘 ② 幹事及び会計報告 ③ 各委員会及び事務局報告 ④ 討議

・谷リエ子、シャンソンコンサート 詳細4頁参照

2.2. 研修・親睦委員会報告

片倉満委員長

1) 昼食会; 3月5日(水)、午前11時50分、カフェレストなな 参加人数6名



堀井義昭会員  
朗々と民謡をご披露

2) 観桜会、3月28日(金)、昭和記念公園、参加9名。

詳細下記「観桜会」参照

2.3. 広報委員会

伊藤健一委員長

1) プロバスニュース第117号: 5月7日発行・配布。

2) ホームページ更新は上記ニュース発行後に予定。

・寄稿を随時募集しています。

テーマは自由。次号118号の原稿締切りは、6月18日予定。

3) 会員増強のため、たま広報(4/20号)の「市民のひろば」会員募集欄に掲載依頼した。

今後、当クラブホームページへの会員募集欄掲載も検討する。

2.4. 事務局報告

登坂征一郎会員

1) ①八王子PC: プロバスだより第351号(2月13日)

\* 『大久保長安』八王子の町興しに貢献

②八王子PC: プロバスだより第352号(3月13日)

\* 『夕やけ』自選句集第12号を贈呈いただきました。

2) ①日野PC: プロバスだより第169号(2月20日発行)

②日野PC: プロバスだより第170号(3月20日発行)

\* 「手のひらセルフケア」新田美佐子氏

3) 埼玉浮き城PC: 会報164号(2月21日発行)

4) ①大阪PC: 会報第400号(1月15日発行)

②大阪PC: 会報第402号(3月12日発行)

\* 「梅真珠の効用」

5) 多摩市国際交流センター: ふれんどりーたまNews3月号 No.262、毎月10日発行

・4月6日(日)、せいせき桜まつりに出店

◇◇◇ 観桜会 ◇◇◇

「令和7年観桜会」

Naoko Lerner 様

3月28日(金)の天気予報は雨でしたが、朝から次第に晴れて、日中は24度、風も無く暖かで爽やかな一日となりました。私は米国インディアナ州在住ですが、所用にて来日しており、父(堀内陽二会友)と母と娘で参加させていただきました。合計9名の参加者は京王線聖蹟桜ヶ丘駅を出発し、JR青梅線の西立川駅改札口から目の前に広がる国営昭和記念公園に朝10時半頃到着。

「昭和天皇御在位50年記念事業」の一環として昭和54年に米軍立川飛行場跡地に設立された同公園は、開園後次々と拡張整備され、現在は約170ヘクタール(東京ドーム40個分)の広さ。そこを公園入口近くのレイクサイドから乗車したパークトレインにて約50分で一周しました。実は、研修・親睦委員会の片倉さんは事前にパークトレインにも乗って下見されたとのこと。流石。

お陰様で90歳の母も



トレインの堀内陽二会友のご家族

94歳の父もゆったりと楽しむことが出来ました。私たち乗客は、カメラ片手に、北は「こもれびの森」から南は「立川口」まで、「子供の森」「庭園」「溪流広場」等回る中、満開の陽光桜のみならず、菜の花、チューリップ、牡丹等色とりどりの木々・草花を愛でて春を満喫しました。

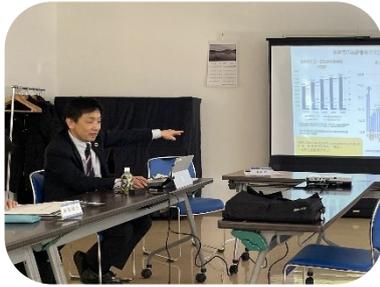
湖畔で一息入れた後、立川ワシントンホテル3階のカフェドパリにて金目鯛の煮付けのランチセットを美味しく頂きながら和やかな懇談のひと時。私にとってはプロバスクラブの理念や活動を教えて頂く好機となりました。様々なキャリアや豊かな人生経験をお持ちの会員の皆さんが、電車での移動時を含めて一日を通して気さくにさりげない様子で楽しく懇談・交流されている姿は素敵でした。



多摩市政 市民とともに あんなこと こんなこと  
多摩市副市長 須田雄次郎氏

多摩市副市長の須田です。本日は、市の最近の動きやこれからについて話します。

多摩市外に向けた市のPRとして昨年12月、渋谷や大手町、武蔵小杉などのターミナル駅に『『とかいなか』で子育て～多摩市～』というタイトルで超大判のポスターを掲出しました。



民間調査会社による「住み続けたい街ランキング」では、首都圏の10万～20万人の市(283市)のうち、本市は例えば「魅力的な図書館がある」では2位、「子育て環境が充実」で5位、「公園が充実」では1位、「治安が良い」では4位など高評価。今後も市の魅力を発信します。

第6次多摩市総合計画に掲げる3つの重点施策。1つは「環境との共生」。地球沸騰化の中、本市は令和2年6月、市議会と連名で「多摩市気候非常事態宣言」を行い、市民とともに地球温暖化対策に取り組んでいます。多摩市気候市民会議では若者男女の市民が集い、市役所の各部署からも職員が参加。5回の会議を経て脱炭素に向けた具体的な取組の提言がなされ、市の計画に反映。また、地域や学校、企業などで実践されている環境にやさしい取組を表彰させていただく「TAMAサステイナブル・アワード」や、ペットボトルをペットボトルに再生する「水平リサイクル」によるCO2削減のため、ペットボトル排出ルールの徹底を市民の皆さんのご協力を得て実施するなどの取組を展開しています。

2つ目は「健幸まちづくりの推進」。本市は「元気高齢者が多い」というデータがあります。身近な所に住民主体の「通いの場」があり、200人を超える介護予防リーダーが活躍し、19か所の地域介護予防教室、44か所の「近所de元気アップトレーニング(近トレ)」が展開され、まさに「健康で幸せ」の健

幸まちづくりを、市民の皆さんとともに進めています。また、市内の施設や行事に出かけてポイントを得る健幸ポイント事業を実施。市内企業のトップが自身と従業員の健幸な働き方を表明する「健幸!ワーク宣言」も41団体に増えました。そして、令和6年度は「多摩市みんなの笑顔が広がる歯と口の健康を推進する条例」や「多摩市手話言語条例」を市民や関係者、専門家の皆さんとの議論を経て制定しました。

3つ目は「活力・にぎわいの創出」。多摩センターでは、令和4年にパルテノン多摩の大規模改修、令和5年に中央図書館の新設、そして全面リニューアルを進めていた多摩中央公園が令和7年4月にグランドオープン。パルテノン多摩では市民利用や良質な公演が人気を博し、中央図書館では1年余りで来館者数100万人を突破。多摩センター界限では「まちづかい社会実験」を重ねるなどしてきましたが、多摩中央公園の開園でさらに回遊性が高まることが期待されます。聖蹟桜ヶ丘では、多摩川河川敷において、水辺の活用による地域活性化を目指して地域の自治会、商店会、団体、企業の皆さんによる「せいせきカワマチ」を活用したまちづくりの取組がスタートしており、令和6年度には国土交通大臣から「かわまち大賞」として表彰されました。このほか、自動運転の実験や企業誘致の取組も積極的に行っています。

加えて、「こどもまんなか」にも注力しています。令和6年度は、幼稚園や保育園に在籍していない3歳未満児を誰でも預かる「こども誰でも通園事業」を多摩地域26市で初めて試行実施したほか、放課後子ども教室を充実し、「たまこどもフェス」を初開催。また、学校給食費無償化、不登校生徒が安心して学校生活を送ることができる「あたごSpace」、小中学生による「多摩市子ども未来会議」なども実施しました。

最後に、「協創」の取組です。本市はこれまで市民参画・協働によるまちづくりを進めてきましたが、今後さらに高齢化と人口減少が進む中では、地域での担い手確保は一層厳しくなります。そこで、市職員もこれまで以上に積極的に地域に出て、地域と関わり、地域で活動する人や団体を「支え」「つなぎ」「発掘する」ことで、「多世代による参画」「多分野における協働」の創出につなげる協創の取組を進めます。

プロバスクラブの皆様には、今後も多摩市を見守り、支えていただきますよう、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

◇◇◇ 谷リエ子 コンサート ◇◇◇

谷リエ子 つむぎ館コンサート報告

研修・親睦委員長 片倉満

それは去る4月2日(水)の開催となりました。

主催は東京多摩プロバスクラブであり、会場提供のつむぎ館(関戸・一ノ宮コミュニティセンター運営協議会)が共催となりました。

当クラブの活動は地域貢献と自身の教養向上を図る事等が軸になっています。毎月の定例会では協議、打合せ後に卓話・講話コーナーがあり、講師を招き、時宜に敵ったお話を聴講しています。昨年5月の20周年記念では地域貢献活動の一つとして多摩市 VITA ホールを使用し入場無料の子ども達が楽しめる「タップ&マジック笑」の舞台公演を行いました。事業活動令和6年度の第21期は、地域の方々を対象にした入場無料のプロによるコンサート開催を計画、開催方法として恒例である定例会の卓話コーナーにて開催することに致しました。



幸いにも地域のコミュニティセンター つむぎ館から会場提供と参加者募集及び当日の運営協力を頂くことができ、昨年未から接触しましたシャンソン歌手、谷リエ子さんの出演が決まりました。多摩プロバスの例会は平日の午後開催のため、会議・打合せ終了後の入場・開催コンサートとなります。

参加者の年齢と午後のひと時をゆったりとした時間を提供できるおしゃれの音楽ジャンルはシャンソンが適切ではないかと考えました。

出演料は当クラブの地域貢献の音楽会 <右段へ>

<左段より>との趣旨を酌んで頂くことができました。

ピアノ奏者は勝見比砂子さんが担当され、当日は雰囲気の良い素晴らしいコンサート会場でした。つむぎ館の月報に告知掲載されて間もなく、定員50名が満員予約登録となり、参加希望をお断りせざるを得ませんでした。



ピアノの曲はじめ、シャンソン風に歌謡曲「上海帰りのリル」、ボサノバなどを語りかけるように歌われる谷リエ子さんの歌に耳を寄せ我々も昔を懐かしく思い出し、胸の熱くなる曲目披露でした。2部では谷さんのハーモニカ3本使った演奏、ピアノとハーモニカのデュオ演奏タイムなど、休憩を挟んで90分は瞬間に過ぎ、当プロバス小林務会長の閉会の挨拶、定例会恒例の終礼合図となる点鐘の後、散会となりました。帰り際に谷さんのCDを購入される方から、「心豊かに楽しい午後も過ごせました」との感想を頂くことができました。

今後も、地域にプロバスの存在を知らしめる題材を探し、実施して参ります。

◇◇◇ ニコニコハッピーBOX ◇◇◇

4月: 3,500円 順不動(敬称略) 増山敏夫: 3/28日、昭和記念公園参加させていただき有難う。楽しく落伍もせずついていけました。久しぶりの親睦会の参加でした。

小島 明: お花見例会ごころう様でした。今日のコンサート楽しみにしています。

登坂征一郎: 3/28 昭和記念公園に観桜会に行きました。当日の桜は2分~3分咲き。園内を一周するトラムに乗り、動く花むしろで園内の桜を居ながらにして鑑賞、楽しく過ごしました。

伊藤健一: 4月からTICの中級英会話教室へ通うことになった。楽しくレベルアップに挑戦できたらハッピー。

◇◇◇ サークル活動 ◇◇◇

ゴルフ部報告

小島明会員

1) 3月24日月曜日に横濱プロバス倶楽部と太平洋クラブ相模コースで4組の合同コンペを行いました。

天気は凄く良く桜はちょっと早かったですが、小林会長が優勝しました。

伊藤さんは残念ながら途中負傷の為リタイヤとなりました。



2) 4月24日木曜日に多摩、日野、八王子の3プロバスクラブの合同コンペがGMG八王子ゴルフ場で行われます。

3) 6月16日月曜日に横濱プロバス倶楽部より秦野の東京カントリークラブでの合同コンペのお誘いが来ております。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

ご挨拶の戦後80年「私の戦争秘話」には、戦争のぬぐえ切れない悲しみを抱いてこられた小林会長の胸の内を思うと、戦争は絶対にやってはいけないと……。

副市長須田雄次郎氏の施政のお話は、我々の活動に勇気を与えて頂きました。

観桜会、コンサートは、会の活動に潤いを齎しました。研修・親睦委員会の活動に感謝です。(登坂征一郎記)